

▼ウテメリン錠・▼注 [内]

【重要度】 【一般製剤名】リトドリン塩酸塩 ritodrine hydrochloride 【分類】切迫流・早産治療剤

【単位】▼5mg/錠, ▼50mg/A [5mL]

【常用量】■内服：15mg/日■注射：添付文書参照

【用法】1日3回

【透析患者への投与方法】設定されていない (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】設定されていない (1)

【特徴】

【主な副作用・毒性】動悸, 手指振戦, 横紋筋融解症, 汎血球減少, 嘔気, 血清K低下, 不整脈, 肝機能障害, ふらつき, 発疹など

【安全性に関する情報】注射剤において, 肺水腫, 心不全, 無顆粒球症, 白血球減少, 血小板減少, ショック, 不整脈, 肝機能障害, 黄疸, SJS, TEN, 胸水, 母体の腸閉塞, 胎児及び新生児における心不全, 新生児心室中隔壁の肥大, 新生児低血糖があらわれたとの報告があるので, 観察を十分に行い, 異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと (1)

【F】資料なし (1)

【tmax】1hr (1)

【代謝】硫酸抱合がメインで, 次いでグルクロン酸抱合が多い (1)

【排泄】尿中回収率 85.5% [po, 48hr まで] (1) 【CL】資料なし (1)

【t1/2】1.4hr (1)

【蛋白結合率】3~12% [ラット] (1)

【Vd】資料なし (1)

【MW】323.81 [塩酸塩]

【透析性】資料なし (1) ダイアライザ抽出率はHD 40%, HDF 50%であるが, 血中濃度にはほとんど影響しない (星野慈恵, 他: 透析会誌 46: 545-9, 2013)

【O/W 係数】0.019 [クロロホルム/水系, pH7.0] (1)

【相互作用】β刺激薬: 作用の増強, β遮断薬: 作用の減弱, ステロイド: 肺水腫の発現, 硫酸Mg製剤: 心筋虚血, 呼吸抑制 (1)

【備考】β2受容体遺伝子多型が効果発現に影響する (柴谷直樹, 他: 臨床薬理 45: S302, 2014)

【更新日】20150810

※正確な情報を掲載するように努力していますが, その正確性, 完全性, 適切性についていかなる責任も負わず, いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし, それらを利用した結果, 直接または間接的に生じた一切の問題について, 当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は, 日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。